

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	指揮者・柳澤寿男と松本&郡山の子どもたち 明日に羽ばたく平和コンサート
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 日本チェルノブイリ連帯基金
事業区分	教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1, 811, 485円 (うち支援金: 1, 201, 000 円)

#### 事業内容

8月20日、FCT 郡山少年少女合唱団のメンバーと付添者22名を招待し生坂村のやまなみ荘に宿泊。  
翌21日、四賀ピナスホールにてコンサートに出演。柳澤寿男指揮による「四賀秀麗」を四賀合唱団、会田中学の生徒も加わり一緒に合唱を行った。  
柳澤寿男さんとJCFの理事長の鎌田實とのトークあり。  
今年は戦後70年の節目でもあることから2人の紛争地での活動などをお話しながら平和について語った。  
JCFがコンサートのために編成したオーケストラによる演奏を行った。翌日郡山の子供たちは安曇野を見学して野外での遊びを楽しんだ。



【 合唱団の演奏 】

#### 事業効果

昨年同様、郡山市から子供たちを招待することができた。郡山は松本と同じ楽都都市である。世界的な指揮者である柳澤寿男さんをお迎えし音楽村を設立する四賀でのコンサートは地域の人にとってもより音楽のもつ力を実感してもらえ、今後の活動にも影響を与えた。特に四賀地区において松本留学として生活している子供たちの参加や四賀合唱団にも参加して下さった事は被災地の様子がより地域の方に理解していただけて良かった。今年は戦後70年の節目であることから柳澤指揮者とJCF理事長の鎌田實とのトークの中で紛争が続くコソボ地区で活躍する様子をお話頂き、鎌田理事長のイラク支援の話も加わり、宗教や国を超えた支援活動の様子が平和を考えるきっかけになるのではないだろうか？今回のコンサートに参加して下さったオーケストラメンバーも各方面から集まった奏者で、音楽に境がないことを奏者もお客様も実感することが出来た。感想に「この話を世界の人が知ったら戦争も無くなるのに」と書いてくれた子どもの参加者もいた。松本市は平和都市宣言をしている。これからの未来を構築して行くために参加市民にもメッセージが伝わったと思う。  
また、合唱団メンバーが生活する郡山市は2011年の東北震災での原発事故の影響により放射能被災地でもある。そのため安心して外で遊ぶ事が出来ない地域でもある。(現在除染作業を継続中)  
安曇野でのボート遊びやわさび田の見学はのびのびと野外で過ごすことが出来、空気の良い安曇野でゆっくりする時間が持てて良かった。

#### 【目標・ねらい】

- ① 音楽による平和構築
- ② 音楽村設立の四賀地区への影響を与え、地域活性に繋げる
- ③ 核兵器のない社会を目指す
- ④ 平和への思いを共有する
- ⑤ 郡山の子供たちには自然とふれあう時間を持っていただく。

#### ※自己評価【 A 】

【理由】  
参加者にも影響を与え、地域の方とも交流ができた。  
被災地の様子を少しでも市民に伝えることが出来た。  
郡山の子供たちは最終日に安曇野見学する時間を持てた。

#### 今後の取り組み

元気づくり支援金事業3年目は平和コンサートを行ったことで安全・安心な社会とはどんな社会か問いかける事業に発展した。2011年の東北震災における放射能被害はまだ収束を迎えたわけではなく、むしろ社会的には忘れ去られようとしている。しかしこれからも支援が必要である。今後も地域の方に福島のことを伝え、必要であれば保養を続け、少しでも被曝を軽減して欲しい。音楽を通じての交流事業を2年行った四賀地区は音楽村を設立した。今年の経験を生かし協力できることがあれば行っていきたい。今後原発事故のないように核廃絶に向けてアピールしていく。